

2024年度
事業報告

特定非営利活動法人 就労ネットうじ

ゆめハウス（就労継続支援A型・B型）/みっくすはあつ（就労継続支援B型）

特定非営利活動法人就労ネットうじ

法人 理念

ともにある

～私たちから発信～

ひとつひとつの出会いを
かけがえのないものに、
ひとりひとりの人生を
人間らしく心豊かなものに、
支え合って・つながりあって・響きあっていく、

みつくすはあつが大切にすること

「人としての豊かさ」
誰もが人として、豊かにはたらき、豊かにつながり、豊かに過ごせる

ゆめハウスが大切にすること

「多様なはたらき方をめざす」
ひとりひとりの働きがある、社会に多様な働き方を具体化していく

2024年度事業報告と2025年度にむけて

2024年度を振り返ると、コロナ禍を経験した後の生活に移行する中、多くの取り組みに試行錯誤を重ねながら挑戦し続けることができました。

環境としては、社会情勢の影響から物価高騰が継続してその対応には課題を感じるままに進んできました。

みっくすはあつとしては、法人理念である「ともにある～私たちから発信～」をもとに、今、そしてこれから何ができるかを前向きに考えて、環境を捉えて、着実に工賃向上を目指して取り組みました。結果、年度末には一時金として42名の利用者に150万円を作業時間をもとに按分して支給できました。

新たな作業挑戦としては、高齢施設の日常清掃、近隣ガレージの定期清掃、宇治市の庁舎2ヶ所の日常清掃の取り組みを開始して、利用者・職員の清掃スキルの向上から社会参加による社会性の向上、結果的に工賃向上につながりました。

啓発としては、社会福祉士養成から地域の学生ボランティア等をオープンに受け入れることで、実習生・利用者・職員それぞれ刺激を交互に感じながら取り組みました。結果、相互コミュニケーション力、自分の思いを言語化して相互理解の向上（他者理解・自己理解）にも寄与しました。

日帰り旅行もコロナ禍を経て大型バスで団体での取り組みにも取り組めて、作業以外の経験を通して社会参加でのつながりを体験することができました。

地域の高校での講義の機会をもらい、また地域の中学生の職場体験の受入れ、そして地域の小学校との交流から、みっくすはあつの取り組みを発信し、お互いを知り合う取り組みを進められたことは良い経験になりました。

うじ・はんどめいどショップの売り上げも、観光客、特に海外からインバウンドの増加、商店街でのコラボイベント等を活用して大きく増加しました。更なるショップの活性化を目指すところです。

エコボール事業では、ボールの受け取りや納品で選手・監督と利用者・職員の交流に取り組み、継続的なつながりの大切さを実感できました。鹿児島県でのエコボール全国集会ではその熱い取り組みの有用性を再確認できました。

2025年度は、更なる作業工賃向上の為に、現在の作業内容、作業効率の見直し、また地域とのつながりを深めて新規作業の獲得、そして継続していくことについても推し進めていきます。

地域に見える形で作業場を飛び出し多様な働く姿を発信して、相互理解を深めて、みっくすはあつを知ってもらい、「ともにある」を目指して取り組みます。

かんしゃ工房（就労継続支援B型）

内容

2024年度は、工賃の獲得を狙い積極的に地域に飛び出し、企業と連携をとりながら、新規作業の獲得に繋がりました。それに伴い利用者の新たな作業への挑戦の機会も増え、モチベーションやスキルの

向上また各々の働き甲斐にも結びつきました。

エコボール活動では、今年度も硬式野球ボールのチームや修繕数が減ってきてはいますが、継続しているチームは、結びつきも強く参加型交流会の時に保護者も一緒にボールの納品に携わらせてもらい、作業の実演の機会をもうけたり等、取組みを応援して頂いています。

スタッフ会議も、「働くについて」「組織の中で働く」「誰かと一緒に働く」をみんなで考え自分や相手を大事にすることを実践しました。少しずつですが芽がでてきています。取組みを継続し、みんなで考える機会を大事にしたいと思います。

作業実績

（工房内での作業）

- ・エコボール納品数：4チーム取り組み/作業数合計 733球
- ・自主製品作り：既存の製品以外にも新たに編み物の小物作りにチャレンジしました。
- ・(株) 智光（卸売業者）：受注作業 計4種類の作業費 50,202円
- ・マタニティストラップとチラシの封入作業：100個
- ・メルカリ衣服の寸法や写真撮影作業：年間209着

（施設外での作業）

- ・出店販売：市役所・振興局・オープンカフェ・地域のお祭りでの販売活動
- ・ローソン清掃作業：除草作業・グリストラップ・ゴミ庫の清掃。
- ・マンション特別清掃・除草作業・側溝清掃：特別清掃は年2回実施。
- 個人の方や地域の団体からポスティングチラシ6,500枚配布（宇治市内）
- ・広野公民館清掃：ワックスがけやエアコンまた蛍光灯の清掃。週2日館内の日常清掃
- ・平盛デイサービスセンターや不動園本部のワックスがけを実施。
- ・個人宅のガレージ清掃（草取り・ゴミ拾い）
- ・小倉地域の町内会の公園清掃（草取り・ゴミ拾い）
- ・宇治市職員会館と宇治市公営企業水道庁舎の日常清掃
- ・宇治市福祉タクシーチケットの配布作業：66通
- ・企業とのコラボでの特別清掃：ワックスがけ 年7回実施

（施設外支援）

- ・ポスティング：毎月2回/1回2,500枚 企業から委託を受け小倉地域へポスティング。
- ・平盛デイサービスセンター内での実習（お風呂掃除・洗い物・トイレ掃除等）平日と祝日に実施

うじ・はんどめいどショップ（就労継続支援B型）

内容

2024年度はイベント販売、店頭販売ともに売り上げが上がった一年となった。宇治橋商店街への観光客が増えたことにより、観光客をターゲットにした店舗作りを行い売り上げに繋がった。改めて地域の方との繋がりや、お店としての役割、人々が求めている商品を提供する重要性を再認識する機会となった。

・ショップ利用者 5名（月～金：2～4名、土：1名） ・体験（利用者） 4名

作業実績

<店頭販売>

- ・新商品や、おススメ商品の販売、観光客向けの商品販売、ソフトクリームや綿菓子、年間を通して蒸し器を活用した店頭販売、ホットコーヒーの販売を行った。
- ・キャッシュレス決済（Air ペイ）を投入した。
- ・外国からのお客様に対応するため、指差しできる通訳パネルの導入。言葉が通じないながらも、スマホの通訳機能の活用をしたり知っている英語で会話したりとおもてなしの気持ちで接客を行った。

<多様性のある働き方>

- ・利用者一人ひとりの「働きたい」の思いを大切に、日々の中で個別に取り組み実践につなげた。
- ・ショップ販売体験希望の利用者や、支援学校からの体験実習生の受け入れを実施。一緒に取り組む事で、良い刺激となり、お互いを認め合い助け合うことで、ともに働くことを実践できた。
- ・利用者がデザインした包装紙、シールを作成しショップで使用開始したところ、お客様に好評だった。

<イベント企画に参画>

- ・宇治橋通り商店街での各イベント、大河ドラマ「光る君へ」展示会の半券を持って来店した方へのプレゼント企画へ参画した。

<広報活動>

- ・新たなのぼりを作成して設置した。宇治市商工会議所が運営するWEBページへ新たに掲載した。

<環境整備>

- ・利用者、職員双方が一日のスケジュールをこなすために、スケジュールの見直しと再周知を行った。
- ・地域の方々の手作り品の販売手数料を見直した。
- ・ショップのPDCAサイクルを促すため、利用者会議、ショップ会議、職員会議の循環を意識した会議体制を構築して実施した。

売上平均

2024年度

- | | |
|---------------------|-----------|
| ・はんどめいど商品（仕入れ商品） | 56,034円/月 |
| ・つながり商品（地域の方の手作り商品） | 61,365円/月 |
| ・作業所商品（他作業所の手作り商品） | 82,375円/月 |
| ・自主製品 | 5,380円/月 |

※《年間売上集計表等 別紙資料参照》

売り上げ比較表2024年度・2023年度

ショップ売上	2024年度			2023年度
	売上金額合計	金額増減	前年同月比	売上金額合計
4月	281,263	93,053	149.4%	188,210
5月	259,645	43,195	120.0%	216,450
6月	570,241	203,201	155.4%	367,040
7月	203,971	7,991	104.1%	195,980
8月	165,951	▲ 25,569	86.6%	191,520
9月	219,154	80,905	158.5%	138,249
10月	537,291	94,378	121.3%	442,913
11月	468,195	91,945	124.4%	376,250
12月	275,371	94,691	152.4%	180,680
1月	159,355	54,008	151.3%	105,347
2月	186,008	45,779	132.6%	140,229
3月	237,328	48,083	125.4%	189,245
合計	3,563,773	831,660	130.4%	2,732,113

企業内実習 ホームケルン株式会社（就労継続支援B型）

内容

ホームケルン株式会社は社会環境を考え、石炭やコークスの代替燃料であるRPFを製造している会社である。

その企業内工場（2階の安全性が確保されたベルトコンベア作業室）で、企業資源廃棄物(資源物)の仕分け作業（紙・ひも・ビニール袋・銅線・ねじ・鉄等）の一部を担う。

基本的な作業内容は企業の職員から指示をいただき、利用者への作業指導はみつくすはあつ職員が行い且つ仕分け作業を一緒に取り組む。

2024年度収入実績は、233日間稼働、466万円であった。

前年度と比し、稼働日▲6日、収入▲12万円であり、特に8月の長期の夏季休暇（▲4日）が収入減に直結。休暇日数に関しては、ホームケルン株式会社に連動するため、来年度の稼働日数は不確実である。

※2025年度収入は、2024年度の収入分は担保できる予定。

利用者

基本通所時間 8時00分～16時45分（移動時間を含む）

通所曜日 月・火・水・木・金（祝日は除く）

作業時間

9時00分～16時00分（ホームケルン企業内作業）

作業実績

- ・みつくすはあつで大切にしている「明るく・笑顔で・安全に」を朝礼で常に発信し、利用者の意識醸成に努める。
- ・「施設外就労」として、安全な作業環境を確保する為に利用者同士で声の掛け合いを徹底し、チームとして協力し作業に取り組むことができた。
- ・利用者に対し、作業内容のリマインドや職員の想いを伝えるためミーティングを実施。2025年2月よりミーティングは定期開催とする。
- ・チームとして取り組む利用者間の人間関係の変化について、常にアンテナを張り、変化があれば、都度コミュニケーションを図り対応にあたる。100%の解決には至らないが、少しずつ良くすることを目指す。
- ・コロナは感染症分類が5類に移行されたが、作業遂行にあたり、室内の換気や密にならないように人との距離の確保、手洗いの徹底、食事時の黙食に取り組み、引き続き感染の予防に努めた。

啓発（就労継続支援 B 型）

内容

2024年度は、昨年度から引き続き人の流れやイベントが戻ったことで交流が更に活発になった一年だった。

日々の取り組みを機関紙、たより、ブログで発信するとともに、清掃作業や出店販売などで働く姿を見せることにより、地域の中で「ともにある」を発信し続けることができた。

作業実績

- ・日々の取り組みで、機関誌やたよりの発行、ホームページやブログなどでの情報発信を行った。
機関誌/年2回・たより/年5回・ブログ/毎月
- ・エコボール活動ではボールの受取りや納品時に野球部員や監督、指導者の方と交流を継続することで、相互理解を深める機会につなげることができた。
- ・地域の講師派遣では、城南菱創高校に計2回講演に行けた。
職員1名・利用者2名参加
- ・きょうされん利用者部会などリモートで参加、事業所紹介活動などを行った。
- ・国会請願署名・募金運動では、地域の事業所と一緒に署名・募金を集めることができ、利用者・職員で内容について理解を深め、取り組んだ。
- ・小学校への出前授業や事業所内外での合同作業（榎島小学校、北小倉小学校）
- ・中学生（宇治中学校、北宇治中学校）の福祉職場体験学習（2日間）の受け入れ。

支援者実習

- ・実習生として7名の学生を迎える事ができ、実習生だけでなく利用者と職員にとっても貴重な学びの場となった。（同志社大学、龍谷大学、京都福祉専門学校、京都医療福祉専門学校、大阪歯科大学）
- ・京都文教大学ボランティア演習での学生を受け入れ。春学期4名、秋学期1名

2024年度事業報告と2025年度にむけて

2024年度も常に相談し悩みながら、新たなことに挑戦する一年となりました。

無事に終える事が出来ましたことは、一重に関係者みなさまのご理解とご協力のお陰です。感謝いたします。

さて、令和6年度の新報酬がスタートして一年が経ちました。A型ではスコア、B型では月額平均工賃算定方式の変更により結果として全体では増収となりました。ただし制度設計への対応は一定必要ではあるものの、目の前の変化に振り回されることなく理念をもとにした実践を大切にしていきます。

また現在も対応に悩む事案として、社会情勢から影響を受ける物価・資材の高騰です。これは事業所のみならず一人ひとりの生活をも圧迫する事態となっています。引き続き行政含め必要な団体と連携をとりながら支援策につなげていく事とします。

A型事業では、2021年度から運用している独自の業務評価基準を更新しながら進めています。自己評価を通し働く姿勢に重点を置いたやり取りでは、ご本人への十分な説明のもと進め、少しずつその効果も現れ、内発的に変化していく姿をご本人と一緒に感じられる事は何より嬉しいです。また企業と連携した施設外就労・施設外支援の実施も進めてきました。この実績が2025年度の新たな展開つながる事となります。

課題としては、定員10人規模を現員3名で運用していることがあげられます。

B型事業では、柱とする飲食部門の枠を広げていきました。具体的に宇治市役所8階での「かむ come カフェ」業務と合わせて2024年11月からは試行的に市役所2階のフリースペースでドリンクサービスの提供を実施してきました。市役所担当課と連携を取りながら2025年度も検証を進めていきます。合わせて市役所内のデリバリー業務、製菓事業の拡大、また露店許可を活用した販売業務なども広げていきました。工房部門では地域企業とつながりを持ち商品力を高めた商品づくりに取り組み、大口注文もいくつか頂けた事は大きな実績となりました。

B型利用者の工賃については、2023年度は利用者ボーナスの支給に至りませんでしたでしたが、2024年度は回復し再度ボーナスの支給実施ができた事は、改めて一人ひとりのモチベーションにつながりました。

全体として、2024年度も新たな作業に挑戦し、検証しながら展開し、2025年度へつながる実績へとなり、引き続き「多様な働き方を目指す」事を実践し続けていきます。

私たちは共に生きるための社会制度の構築や環境・風土を実践を通し伝えていくため、知恵を絞り日々の取り組みを検証しながら前向きな変化へとつなげていきます。

そして日々の活きた実践を大切に、法人が理念とする「ともにある」のもと、活動を継続していきます。

引き続きよろしく願いいたします。

クリーンねっと（就労継続支援A型）

全体

作業内容の変化にも対応しながら、日々の姿勢から作業の質まで向上することができました。

日々の中での問題点・改善点など自分たちで話し合うことを大切に、チーム作りや働く姿勢等個人のスキルアップ、積極性や自主性、意欲的な働きを目指し、ミーティングでは中々発言が難しかったのですが、休憩時間などのちょっとした時間に数分話しあったりという時間を新たに持ち、チームワークや働く姿勢に繋がるよう意識を持つことが出来たと思います。今後は、ミーティングの場でも活発な意見や話し合いができるよう工夫していきます。B型から実習の受け入れもあり、A型として作業を教えること、見本となる事を意識しながら取り組みも進めてきました。また、チームワーク向上のため今年度もA型のみで余暇活動を行いました。宿泊旅行は、利用者で話し合い東京観光に行ってきました。また、忘年会では利用者同士で話し合いをし、お店選びまですることができました。自分たちで決め実行できたことは自信に繋がりました。

独自の評価表（特別清掃への参加の有無等）をもとにモニタリングで自己の働きを振り返り、各々がA型としての意識を持って作業に取り組む姿勢が見られました。以前から掲げている「賃金の向上を目指す」という目標に則りさらなるステップアップを図ることに繋がりました。週20時間以上の勤務は継続し、新規業務へも積極的に参加し、雇用者としての自覚を持って日々の業務に取り組むことを目指し、個別支援計画をもとに進めています。

今後も継続課題として最低賃金の増加に伴った賃金支払いのバランスの確保が挙げられます。変動していく最低賃金の額に適応した賃金支払いに近づけていく事とあわせ、個別支援計画やモニタリングにおける本人との相談を通し、「多様な働き方」を継続し目指していきます。また、独自の評価基準に関して、1年を通してある程度の感覚は掴めた為、業務内容の変化、週間の動き、ゆめハウス全体の動きに合わせて、評価内容に少し変更を加えました。

利用者

A型利用者数 4名（2025.3.31現在） 3名（2025.4.1現在）

B型利用者のA実習（9名）（通常清掃、特別清掃含む）

特別清掃時、専門機器を扱う利用者の増加。

基本通所時間 10時～16時

労働時間 週20時間以上30時間未満

通所人数 1日 3名

作業場所

- ・産業振興センター 全館清掃（日常清掃・特別清掃）
- ・宇治公園橘島公共便所清掃
- ・東宇治地域福祉センター（日常清掃・特別清掃）
- ・円蔵院
- ・サクラハイツ
- ・ライオンズマンション宇治第2（日常清掃・特別清掃）
- ・伊勢田地区公園除草作業（5ヶ所）
- ・小倉明星園デイサービスセンター（日常清掃・特別清掃）
- ・O'sビル（日常清掃・特別清掃）
- ・広野公社デイサービスセンター（特別清掃）
- ・その他 特別清掃依頼に対応（年間1～2回）
- ・京都府宇治総合庁舎（特別清掃）
- ・宇治浄水場
- ・Coco 壺番屋

ゆめハウス（就労継続支援B型）

2024年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、出店販売や出張喫茶も通常に戻り、地域のイベントにもたくさん呼んでいただくことができました。また、自主製品の受注も積極的に受け、利用者の工賃アップに繋げることができたと思います。年度末には少しではありますが全体で25万円をボーナスとして支給することができ、利用者の仕事への意欲も高まりました。

新たな取り組みとして、11月宇治市役所本庁舎2階エスカレーター前フリースペースに「ドリンクサービス（2ndカフェ）」をOPENしました。月～金の5日間ドリンクをメインに製菓やソフトクリームを提供しています。このフリースペースは障害者アートの展示場にもなっており、スイーツやコーヒーを味わいながら地域の方がゆっくり楽しんで過ごして頂ける空間になっています。また、株式会社良品計画 無印良品 松井山手店とコープ二条駅店と繋がりを頂き、店内で「さをり体験」や「器器プロジェクト」の陶器回収のイベントを開催させて頂きました。地域を越えて店舗のスタッフの方や、来場者の方、イベント出店の方などとの繋がりが広がっているように思います。

余暇活動では2024年度もスタッフ旅行を実施することができました。宿泊チームは2コースに分かれ広島に行きました。公共交通機関を利用してみようという事で、新幹線、路面電車、フェリーと初めての利用者もあり、貴重な体験をする事ができました。日帰りチームは愛知県の「明治村」を訪れました。村内そのものが博物館のようで、SL機関車や市電に乗ったり、数々の文化財を通して歴史に触れることができ有意義な時間となりました。

施設外実習ではCoco壱番屋での実習が5年が経ちました。店の目の前にニンテンドーミュージアムができたことによりお客様が増え、より一層スタッフの一員として当てになる存在となっているようです。引き続き先方とは密にやり取りをしながら進めていきたいと思っています。また、2023年度に始まった総合庁舎の早朝の清掃実習は2024年度は別の事業所が担う事となり継続する事がありませんでしたが、2025年度より再度依頼を請け以前の経験を活かして取り組む事となりました。質が落ちたと思われぬように丁寧に進めていきたいと思っています。

2022年度から始めている整体師による「働く事を支える心と身体づくり」は、利用者も1ヶ月待ちきれないくらい楽しみにしており、ほぐしてもらったり、家でできるストレッチを教わることで働き続けるための体づくりの成果が見られたように思います。

2025年度は、現在取り組んでいる作業については実践と検証を繰り返しながらよりよいものを目指し、ゆめハウスらしい人とのつながりを大切にしながら新しい取り組みにも挑戦していきたいと思っています。

利用者

B型利用者数 24名(2025.3.31現在)

A型実習体験者数 9名(通常清掃、特別清掃含む)

施設外支援 1名

基本通所時間 10時～16時

通所人数 (月～金)14～17名/日 (土)5名/日

作業内容

- ・ゆめカフェ(毎週金曜日)
- ・かむ come カフェ(毎週月・火・水曜日)
- ・2nd カフェ(毎週月～金曜日)
- ・工房
- ・出張喫茶、出店販売 *出店販売年間 110回
- ・通常清掃 3ヶ所(服部医院、宇治市役所除草、米坂墓地)
- ・【A実習】特別清掃 1か所(西宇治公園プール清掃)
- ・リサイクル(古紙、プルトップの回収、販売・海外リユース〈器器プロジェクト〉)
- ・製菓
- ・企業実習(Coco 壺番屋)

エコボール（硬式野球ボールの修繕）

協力学校・チーム

- ・大阪産業大学
 - ・大阪千里青雲高等学校
 - ・高槻リトルリーグ
 - ・岐阜中濃ボーイズ
 - ・洛南高等学校
 - ・高槻オールブラックス
 - ・茨木ナニワボーイズ
 - ・夢道場ワールドベースボールアカデミー
 - ・大正白陵高等学校
- 【新規 1 チーム】・京都南山城ボーイズ

年間修繕数 2024年1月～2024年12月

560球

評価

2024年度は新規で1チームとの繋がりを持つことができました。定期的にボールを預けて頂いているのは4～5チームほどになります。2023年度に取引があった奈良県立香芝高等学校さんは地元の奈良の事業所さんに引継ぎを致しました。2023年度に引き続きどうしても監督が代わられたり、クラブチームでは卒団されたりと人の入れ替わりによって連絡が途絶えてしまう事が多いので、こちらからこまめに連絡を取り合って繋がりが切れないようにしていきたいと思えます。

2024年度の大きな取り組みとしましては2月22日に第7回エコボール全国集会を鹿児島県にて開催し、全国から14事業所45名ほど集まりました。第1部では株式会社S・Yワークスさんによる研修会「今後の福祉を見据えて、今私たちがすべき事とは」も開かれました。第2部として今年度も懇親会を実施する事ができ、事業所間の情報共有がたくさんなされました。ゆめハウスからは2名の利用者が参加し、研修会あり懇親会ありと大変有意義な素晴らしい全国集会になったと思っております。

前年度から引き続き、全国の他事業所からはたくさんの問い合わせがあります。その都度、見学に来て頂き、ゆめハウスの利用者さんと一緒に作業をしてもらうことで実際に作業は可能かどうか判断してもらっています。エコボール事業が年々全国に広まっていくにつれ、より事業所間で連携をとり、本来の目的や効果がぶれないように共有し合っていきたいと思っております。

工 房（自主製品）

さをり製品

- ・ひざ掛け（京都府敬老祝い品）50枚（2024年度で終了）
- ・染め和紙織り（念珠入れ・通帳入れ・名刺入れ・ティッシュケース・コースター）
（コースター）合計 約4,700枚
- ・発注元 いたるセンター（ほっとはあとセンターより）1200枚（600枚・600枚）
- ・宇治市人権啓発物品 130枚 ・宇治市障害者街頭啓発物品 18枚
- ・京都府障害者支援課（ふれあい広場参加賞）100枚 ・京都府山城振興局より 3,000枚
- ・京都生協60周年記念品 175枚 ・琵琶台民生委員 38枚
- *ぶらり嵐山、ぶらり三条、うじ・はんどめいどショップ、各種出店等で販売
- *さをり織り体験 3日間実施（無印良品 松井山手店・コープ二条店）

刺し子製品

- （ふきん）
- ・中山東町内会 0枚（2024年度、財源が少なくなったとのことで受注なし）
- ・みつくすはあつ年末お礼品 25枚 琵琶台民生委員 20枚
- （ハンカチ）年末お礼品・干支（巳）
- ・ゆめハウス 70枚 ・キョーシンオート 50枚 ・おもてなし処阿吽 20枚
- （手ぬぐい）干支（辰）
- ・天ヶ瀬苑 40枚
- *うじ・はんどめいどショップ、各種出店で販売

染め紙製品

- （マグネットブックマーク3枚セット）
- ・発注元 いたるセンター（ほっとはあとセンターより）300個（150個・150個）

い草製品

- （コースター）合計 約2,500枚
- ・日本セルフセンター（3枚入）100セット
- ・京都新聞社会福祉事業団（2枚入）870セット
- ・宇治青年会議所55周年記念品（2枚入）225セット

その他

- ・手編み製品（座布団・アクリルたわし）

評価

2024年度より本格的に畳コースターを製作し、受注に繋がりました。国内、国外の観光客も増えていることから、ぶらり嵐山店・三条店への製品種目も増やしていきたいと思っています。「さをり織り体験」は、無印良品松井山手店、コープ二条店との繋がりを頂き、3日間実施する事ができました。2025年度も無印良品での定期的な実施や、また新たな開催場所も開拓していきたいと思っています。

ゆめカフェ

実施曜日 毎週金曜日 (月4～5回)

実施時間 11:30～14:00 (ラストオーダー13:30)

利用者 4名ほど 2～3人が交代で入ります。

・1日およそ25食程度の食数が出ます。

評価

物価高騰が続く中、650円でランチを提供しています。仕入れの仕方や材料など試行錯誤し、デザートも毎回提供できるようにしています。

仕入れ、前日の仕込みに利用者も携わり、食材の選び方や調理道具の使い方などを学び、料理に関する経験を重ねています。また、日々の生活でも食に興味を持ち、自分でもやってみたいと思い、それを行動にうつしてやってみたことなど、報告してくれることも増えてきました。

また施設外実習や、利用者自身の生活の自立に向け、接客や掃除、準備などの職員がつきながら教えられる練習の場としても有効に活用できています。

日々の衛生管理チェックでは備品の不備に早く気づくことができるようになってきていることと、利用者自身が身だしなみを気かけられるようになってきました。2025年度も引き続き、お客様に安全な食事を提供できるように努めていきたいと思えます。

・2021年6月～HACCP導入運用が完全義務化となり、ゆめハウスでも衛生管理表を作成し毎日記録チェックをし、記入作成も習慣化されてきています。

また、毎年新しい職員には「食品衛生責任者実務講習会」を受講してもらい、食品衛生についての知識を深めて頂いています。

かむ come カフェ

実施曜日	毎週 月・火・水曜日
実施時間	11:00~14:00
実施場所	宇治市役所8階 コミュニティスペース
利用者	1名ほど

評価

2023年4月17日に宇治市役所8階コミュニティスペースにOPENしました。1年ほど経った今では、職員・利用者とも少しずつではありますが、ペースや流れにも対応し、楽しく次の作業にも取り組めるようになってきました。自ら考えて進んで仕事に向き合う姿勢は、相乗効果を生み出し、とても活気に満ちあふれております。

売り上げについては下表にもあるとおり、季節や天気などにより来客数にも影響がありますが、毎月季節に合ったイベントも定着し、常連のお客様も何人かおられます。

宇治市役所8階コミュニティスペースの運営にあたっては、障害福祉課、長寿生きがい課、職員厚生課、遊々と連携して取り組んでいます。行政の中の横の繋がりが、障害と高齢の違いなど課題はたくさんありますが、その都度話し合いながらオープンなコミュニティスペースになるように取り組んでいきたいと思っています。

また、利用者にとっても今後の日常生活や実習に活かせる経験を積む場所として活用していきたいと思っております。

2024年	営業日	来店者数	月/売上金額(円)	日/平均(円)	備考
2024/4月	13	282	103,300	7,946	お花見桜クッキー
5月	12	247	81,650	6,804	1周年記念じゃんけん
6月	12	243	85,200	7,100	梅・紫蘇ジュース
7月	14	297	98,150	7,011	夏休みイベント(ラスク)
8月	9	180	63,450	7,050	夏休みイベント(千本き)
9月	11	231	83,000	7,545	お花見イベント (満月クッキー)
10月	13	297	99,900	7,685	ハロウィン
11月	11	195	69,250	6,295	NOVEMBER イベント (ラスク)
12月	12	241	82,100	6,842	クリスマスイベント (じゃんけん)
2025/1月	11	188	64,950	5,905	
2月	10	260	79,000	7,990	バレンタイン
3月	13	300	92,900	7,146	ホワイトデー
合計	141	2,961	1,002,850	7,110	

2nd カフェ

実施曜日	毎週 月～金曜日
実施時間	11:00～14:00
実施場所	宇治市役所2階
利用者	1名ほど

評価

2024年11月に宇治市役所2階ギャラリースペース展示と共に2nd カフェ OPEN しました。開店当初は、話題にもなり、遠方からも足を運んで下さる方々も多く職員・利用者協力し、現在に至ります。初めての事ばかりで戸惑う事もたくさんありましたが、試行錯誤を繰り返しながら進めてきました。仕事内容はドリンク提供やお金のやり取り等々生き生きと働いておられます。幅広い利用者にも挑戦しやすい場所作りになっております。

売り上げについては下表にもあるとおり、季節や天気などにより来客数にも影響がありますが、固定で来て下さる方々も多くなりました。

宇治市役所2階ギャラリースペース運営にあたっては、障害福祉課、資産運用推進課、と連携して取り組んでいます。行政の中の横の繋がりや、課題はたくさんありますが、その都度話し合いながらオープンなコミュニティスペースになるように取り組んでいきたいと思っています。

また、利用者にとっても今後の日常生活や実習に活かせる経験を積む場所として活用していきたいと思っております。

	営業日	来店者数	月/売上金額(円)	日/平均(円)	備考
2024/11月	5	106	32,350	6,470	
12月	17	245	66,700	3,924	
2025/1月	19	241	61,050	3,213	
2月	17	226	62,150	3,656	
3月	20	306	78,800	3,940	
合計	78	1,124	301,050	4,241	

製菓・出張喫茶(一部物品を含む)

- ・心身障害者福祉センター（京都府社会福祉事業団）
年間9回
- ・介護教室(宇治市小倉明星園)2022年4月より月1回（第2木曜日）
年間10回
- ・宇治市市役所 販売年間15回
- ・オープンカフェ 年間8回
- ・振興局 4回
- ・生涯学習センター販売 土 年間10回
- ・事業所や個人様からの依頼によりお菓子の委託販売
- ・その他出店 吉田運送、SAND-ICHI、縁庵まつり、宇治市植物公園販売、西小倉おさんぽラリー
うじ・はんどめいどフェア（アルプラザ宇治東）県まつり
夏休み子どもわくわくフェア、折居台こども夏まつり
あさぎりフェスタ、中央公民館まつり、南陵町祭り
わんさかフェスタ、紅葉フェスタ・環境ふれあいフェスタ
宇治ボランティアフェスティバル、深草100円商店街、
ともいきフェスティバル、はにかむカフェ、同志社こむぎこ企画、
身体障害者福祉協議会の集い、まなびんぐフェスタ
健康長寿フェス、ひゅうまんフェスタ、おもいの駅伝

評価

2024年度は地域のイベントや大学のイベントに積極的に参加することができました。
また、トイコタと共同でクッキー缶の製作に励んだ一年となりました。
毎月Instagramで予約の注文販売をすることとなり、たびたび協議をし、値段決めからデザイン、個数、配送するにあたり割れないようにクッキーの厚み、包装など試行錯誤しました。
違う都道府県の、会ったことがないお客様に向けての販売の難しさ、他の会社との連携の難しさなども痛感し、よい経験となりました。
また、ゆめカフェのデザートも楽しみに来て下さる方も増え、利用者とともに、やりがいをもって仕事に取り組んでいます。

海外リユース（器器プロジェクト）

連携団体

宇治市内を中心とした10事業所

評価

海外リユース事業とは、各ご家庭に眠っている陶器を中心とした食器を回収し、海外に販売していく取り組みです。また、回収した器の中から、セレクトした器に新たにデザインを加え製作したプロダクトも販売しています。きっかけは宇治市役所まち美化推進課の海外リユース事業をもとにしています。回収業者を通じて得た利益は利用者工賃に還元しています。

目的として、工賃アップにつなげる事と合わせて地域の課題解決につながる取り組みから新たな仕組みづくりにつなげていく事を目的としています。

2024年度では多くの方々に認知も広がり沢山のご家庭からお問合せと回収をさせて頂きました。また SAND-ICHI（無印良品さんとのコラボ企画）等のイベントでも不要な食器等の回収を募り沢山の方々にご協力して頂きました。今後も引き続き海外リユース（器器プロジェクト）に力を入れて参ります。

回	搬出日	全体搬出量(kg)	全体金額(円)	ゆめハウス(円)
15	2024/5/2	1,939	87,090	20,730
16	2024/6/24	2,000	90,510	9,810
17	2024/7/10	2,000	90,515	10,935
18	2024/8/22	1,620	72,175	5,530
19	2024/10/24	1,994	90,655	7,050
20	2024/11/14	2,000	90,765	4,140
21	2024/12/11	2,000	91,055	25,535
22	2025/1/15	2,004	88,385	12,490
23	2025/2/18	2,000	89,090	36,215
24	2025/3/31	1,999	93,680	12,180
合計		19,556	883,920	144,615

*2024年度実績（全体）

・搬出10回 ・搬出量 19,556kg ・883,920円